

令和6年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立愛宕中学校		作成者	職名	教頭										
電話番号	0956-28-0116			氏名	迎 房子										
1 年間の実施内容 (取組状況・実績等)															
4月	実施テーマ	服務規律徹底のための体制整備及び取組の周知 (服務規律遵守、体罰・不適切な指導の根絶 等)													
<u>取組の評価・改善点</u> ○学校経営方針にて、以下4点を主に教育公務員としての使命・義務・責任を再確認し、使命の自覚及び法令遵守・綱紀の保持に関わり職員指導を行った。 ① 体罰・暴言・ハラスメントの禁止 ② 情報セキュリティの徹底 ③ 飲酒・酒気帯び運転等の根絶 ④ 公金等の適正処理及び現金の学校残置禁止 ○「わいせつ行為等防止のためのチェックシート」の実施や、職員朝会や会議等における通知事例についての共有を行い、職員の自己啓発を高めることができた。 ○業績評価への体罰に関する取組の記載、自動車運転免許証等の現認を行い、不祥事防止に努めた。															
7月	実施テーマ	服務規律 (体罰・不適切な指導の根絶、公金の取扱い、情報セキュリティ) の確認と自己の振り返り													
<u>取組の評価・改善点</u> ○不祥事根絶を自分事として考えるとともに『私の「体罰」根絶宣言』を作成し、自覚を高めた。 ○公金等の適正処理に関わり、管理職が通帳・会計簿等を点検、必要に応じて指導を行った。 ○情報取扱いや管理場所、情報を持ち出す場合の手続き、ウイルスチェックの方法を確認し、情報モラルと情報セキュリティについて見識を深めた。															
12月 ～1月	実施テーマ	服務規律 (体罰・不適切な指導の根絶) の確認、飲酒運転防止、メンタルヘルスの推進 等													
<u>取組の評価・改善点</u> ○ストレスチェックの結果をもとに、心のセルフチェックについて意識を高めた。 ○職員研修で児童生徒性暴力等の防止等に関する理解を深めるための動画を視聴し、法令的な視点からの理解を深めるとともに今後の防止策等について各々考えをまとめ、職場の連帯強化に繋げた。															
2 服務規律委員会															
委員会名	ハラスメント対策等、服務規律委員会														
構成員	所属内委員 (7名 校長、教頭、生徒指導主事、学年主任、養護教諭) 外部委員 (9名 役職等：学校評議員、育友会長・副会長)														
3 年間を通しての計画の達成状況															
<u>年間を通しての取組状況チェックリスト</u>															
(1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号 (ア～コ) で回答ください。(複数回答可)															
<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>イ</td> <td>カ</td> <td>キ</td> <td>ク</td> <td>ケ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> その他 (ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。)						イ	カ	キ	ク	ケ					
イ	カ	キ	ク	ケ											
(2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。 ※ 該当する項目に○を記入ください (以下同じ)。															
<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>(○) できた</td> <td>() 概ねできた</td> <td>() 少し不十分</td> <td>() できなかった</td> </tr> </table>						(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった						
(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった												
(3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。															
<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>() できた</td> <td>(○) 概ねできた</td> <td>() 少し不十分</td> <td>() できなかった</td> </tr> </table>						() できた	(○) 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった						
() できた	(○) 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった												
(4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。															
<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>(○) できた</td> <td>() 概ねできた</td> <td>() 不十分だった</td> <td>() 実施していない</td> </tr> </table>						(○) できた	() 概ねできた	() 不十分だった	() 実施していない						
(○) できた	() 概ねできた	() 不十分だった	() 実施していない												
資料添付				有 ・ 無											

<実施結果報告書作成に関して>

※ 様式枠の大きさは適宜変更してください。

※ 各所属で作成された資料等があれば、県内の学校への取組事例紹介等に活用するため、積極的に添付してください。また、添付資料を含め電子メールで送信されても結構です。

別表	校内研修の工夫（学校のチーム力を高めるために（H23.3）から）
<p>校内研修をより効率的・効果的に実施するためには各学校の実態等に合わせて実施内容や時期を定めて計画的に取り組むことが大切です。</p> <p>校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、以下のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。</p>	
<p>【工夫（例）】</p> <p>ア 運営の工夫</p> <ul style="list-style-type: none">・管理職員の指導中心の研修から、服務規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。 <p>イ 具体的な事例の紹介</p> <ul style="list-style-type: none">・県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。 <p>ウ 外部講師を招いての講話</p> <p>エ 体験的な研修</p> <ul style="list-style-type: none">・ロールプレイを取り入れる。 <p>オ グループ討議</p> <ul style="list-style-type: none">・小グループに分かれての事例研究、討議を行う。・「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。 <p>カ ワークシートの作成</p> <ul style="list-style-type: none">・何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。 <p>キ チェックリストを作成</p> <ul style="list-style-type: none">・チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。 <p>ク ファイリングして保存</p> <ul style="list-style-type: none">・各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。 <p>ケ 決意表明</p> <ul style="list-style-type: none">・全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。 <p>コ 職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組</p> <ul style="list-style-type: none">・川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。	